UBS

交付運用報告書

UBS
MSCI先進国ESG株式
インデックス・ファンド

愛称：みらいゲート・先進国ESG

追加型投信／内外／株式／インデックス型

第8期（決算日2026年9月7日）
作成対象期間（2025年9月6日～2026年9月7日）

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは主として外国上場投資信託への投資を通じて、先進国の環境、社会、ガバナンスへの取り組み評価が高い企業の株式で構成されるMSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末（2026年9月7日）	
基準価額	34,926円
純資産総額	2,051百万円
騰落率※	25.4%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞　投信営業部　03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）
http://www.ubs.com/japanfunds

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。
＜閲覧方法＞
上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック
なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

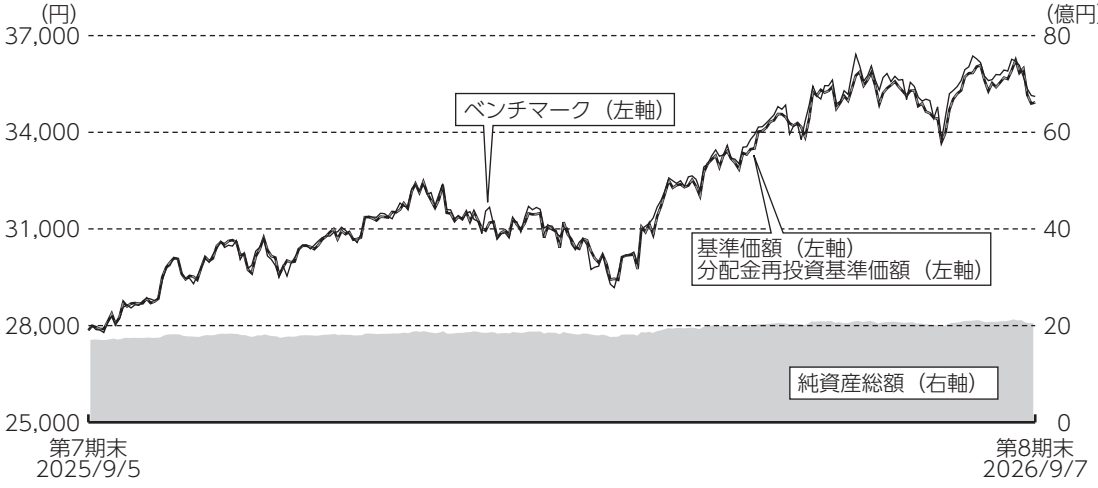
©UBS2026．キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年9月5日～2026年9月7日）



第8期首：27,858円	
第8期末：34,926円（既払分配金 0円）	
騰 落 率：	25.4%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

ベンチマークについて

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「MSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、USDベース）」を委託会社において円換算した「MSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」です。また、当ファンドはベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

※UBS MSCI先進国ESG株式インデックス・ファンドおよびMSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に関して、MSCIはスポンサーではなく、またその保証ないし販売促進もしておらず、さらに、それらファンドの責任を負うものではありません。（The funds or securities referred to herein are not sponsored, endorsed, or promoted by MSCI, and MSCI bears no liability with respect to any such funds or securities or any index on which such funds or securities are based.）

基準価額の主な変動要因

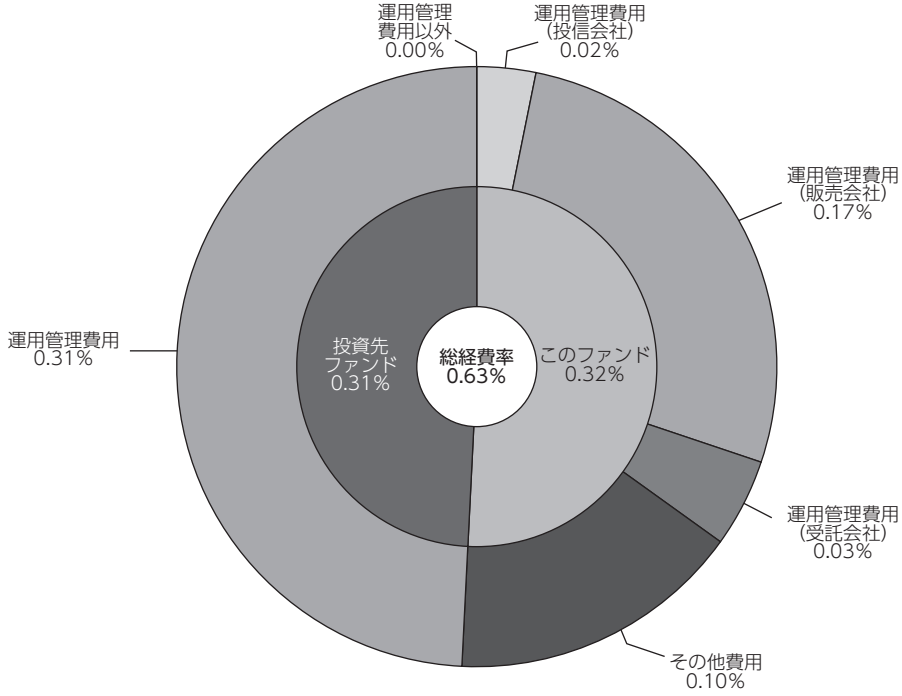
当ファンドの基準価額は前期末比で上昇しました。世界的な株式市場の上昇に加え、米ドルやユーロなどの主要通貨に対する円安の進行がプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

項　目	当期 2025/9/6～2026/9/7		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.216%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は32,169円です。
（投信会社）	（　7）	（0.022）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 53）	（0.166）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（　9）	（0.028）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	5	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	（　5）	（0.015）	投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
その他費用	31	0.097	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（　7）	（0.023）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（　4）	（0.014）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 20）	（0.060）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（　0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	105	0.328	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）総経費率



総経費率（①＋②＋③）	0.63%
①このファンドの費用の比率	0.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注6）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.63%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2021年9月6日～2026年9月7日）



（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2021年9月6日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年9月6日 期初	2022年9月5日 決算日	2023年9月5日 決算日	2024年9月5日 決算日	2025年9月5日 決算日	2026年9月7日 決算日
基準価額　(円)	16,625	17,024	20,835	24,529	27,858	34,926
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	2.4	22.4	17.7	13.6	25.4
ベンチマーク騰落率　(%)	－	1.4	25.7	18.2	14.5	26.0
純資産総額　(百万円)	880	1,203	1,454	1,653	1,702	2,051

（注）「分配金再投資基準価額騰落率」、「ベンチマーク騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は上昇しました。米国を中心とした底堅い企業業績やAI関連投資の拡大への期待などを背景に、株式市場は上昇基調で推移しました。期の後半にかけては、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受け、インフレ再燃や金融引き締めの長期化への懸念から株価が大きく下落する局面がありました。その後は、停戦・協議進展への期待や原油供給不安の緩和に加え、AI関連投資の継続と企業業績の底堅さから株価は再び上昇基調を取り戻し、期末にかけてグローバル株式市場は高値圏で推移しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

主として上場投資信託（UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF）への投資を通じて、MSCI ワールドSRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックスに概ね連動する投資効果を目指して運用を行いました。期初より、上記上場投資信託の組入比率は可能な限り高位を維持しました。

なお、ESGを主要要素として選定した有価証券の組入比率は、上記上場投資信託の純資産総額に対して99.5%*です。

* 取得できる直近の数値を記載しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

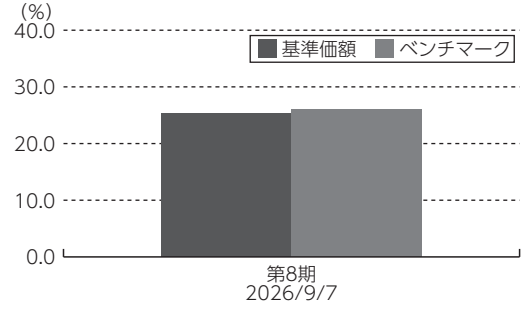
［当社のスチュワードシップ方針および方針に沿って実施した行動］

・UBSアセット・マネジメント・グループとして、各国のスチュワードシップ・コードならびに関連規制への準拠を表明しており、当社においても日本版スチュワードシップ・コードの受け入れを表明しています。
・企業のESGに関するパフォーマンスを分析し、特定されたリスクと機会についてエンゲージメントを行い、また一貫して議決権行使を行うことに、資産運用会社として責任を有すると考えています。投資家による積極的なオーナーシップが企業や市場全体の長期的な持続可能性と成功に貢献するものであり、効果的なスチュワードシップは、投資家と企業が直面する環境、社会、ガバナンスの問題を特定し、影響を与える機会を資産運用会社に提供すると考えています。
・UBSアセット・マネジメント・グループのスチュワードシップ方針ならびに実施内容等につきましては、以下のホームページをご参照ください。
http://japan1.ubs.com/am/pages/importance/ssc

ベンチマークとの差異について

当期中の騰落率は、基準価額の＋25.4％に対してベンチマークが＋26.0％となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を0.6％下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、信託報酬などの費用の負担によるものです。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

分配金について

当期は、市場動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳　（1万口当たり・税引前）

項　目	第8期 2025年9月6日～2026年9月7日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	（　－%）
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	24,925円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドの今後の運用方針

UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETFの投資比率を高位に維持し、ベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

短期金融市場の状況を注視しつつ、UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、コール・ローン等で運用する予定です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

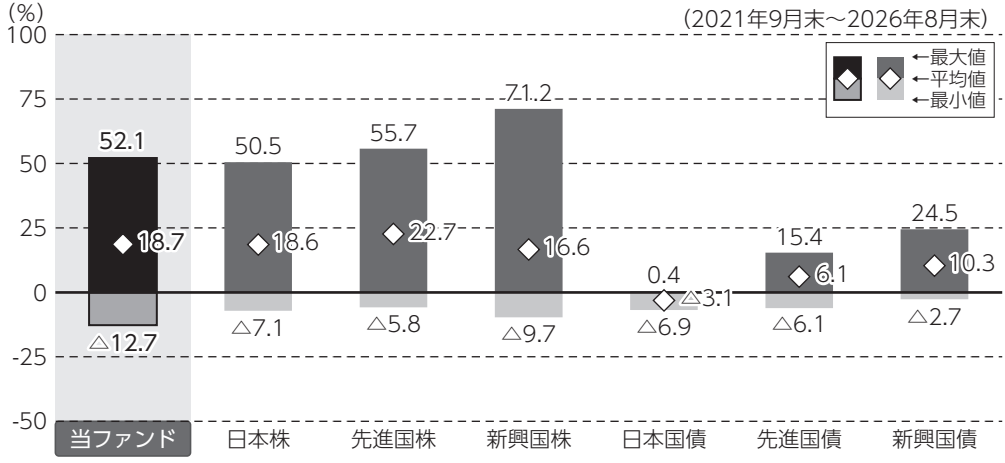
2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	主として外国上場投資信託への投資を通じて、先進国の環境、社会、ガバナンスへの取り組み評価が高い企業の株式で構成されるMSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	外国上場投資信託であるUBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF（以下「指定上場投資信託」といいます。）および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）（以下「指定内国投資信託」といいます。）の投資信託証券を主要投資対象とします。	
	UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF	MSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックスを構成する企業の株式を主要投資対象とします。
	UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	UBS短期円金利プラス・マザーファンドの受益証券ならびに内外の円建て公社債を主要投資対象とします。
運用方法	MSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。 指定上場投資信託および指定内国投資信託の投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー、コール等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。 指定上場投資信託証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。	
	UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF	先進国の環境、社会、ガバナンスへの取り組み評価が高い企業の株式で構成されるMSCI ワールド SRI ロー・カーボン・セレクト 5% イシュアー・キャップド・インデックス（税引後配当込み、USDベース）に連動することを目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	直接投資を行う場合の公社債については、原則として、購入時においてS&P、ムーディーズ、格付投資情報センター、日本格付研究所のうち1社以上の格付機関より、Aa3/AA-以上の長期格付けが付与されたものに投資を行います。また、購入時において残存期間が2年以内の公社債とします。 UBS短期円金利プラス・マザーファンドの組入れについては、50%以上を維持することを基本とします。 <UBS短期円金利プラス・マザーファンド> 代表的銀行の3ヵ月大口預金金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎決算時（原則として毎年9月5日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2021年9月から2026年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
＊騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）	東証株価指数（TOPIX）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

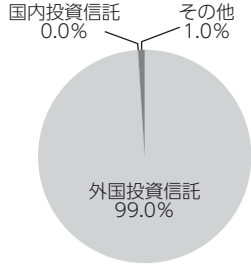
（2026年9月7日現在）

組入上位ファンド（銘柄数：2銘柄）

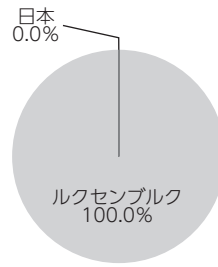
銘　柄	比率（%）
UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF	99.0
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

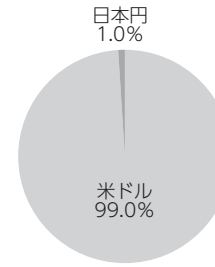
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項　目	第8期末 2026年9月7日
純資産総額	2,051,391,348円
受益権総口数	587,360,103口
1万口当たり基準価額	34,926円

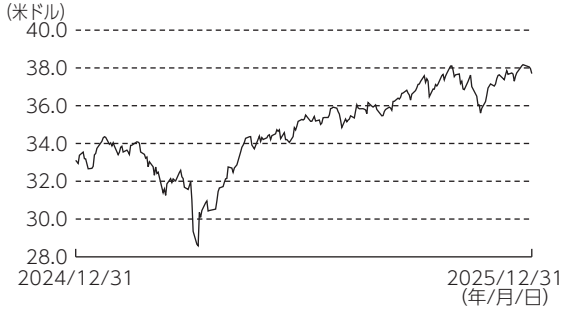
（注）当期（第8期）中における追加設定元本額は95,429,776円、同解約元本額は119,250,496円です。

組入上位ファンドの概要

（2025年12月31日現在）

◆UBS MSCI ワールド・ソーシャリー・レスポンシブル UCITS ETF

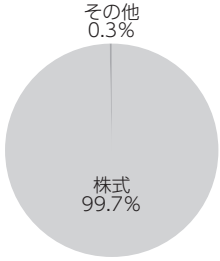
基準価額の推移 （2024年12月31日～2025年12月31日）



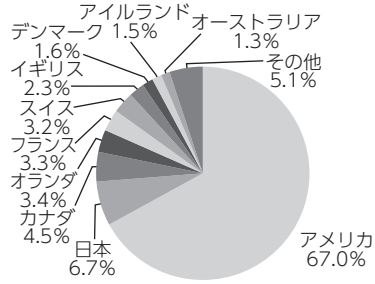
組入上位10銘柄（銘柄数合計：377銘柄）

銘柄名	国／地域	比率(%)
Tesla	アメリカ	5.2
NVIDIA	アメリカ	4.8
Microsoft	アメリカ	4.7
ASML Holding	オランダ	2.2
Advanced Micro Devices	アメリカ	1.8
Home Depot	アメリカ	1.8
Coca-Cola	アメリカ	1.5
Caterpillar	アメリカ	1.4
Salesforce	アメリカ	1.3
Lam Research	アメリカ	1.1

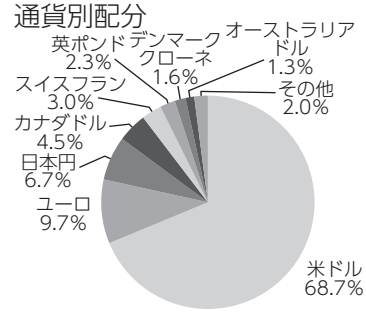
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注2）「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注3）「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
（注4）「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
（注5）上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

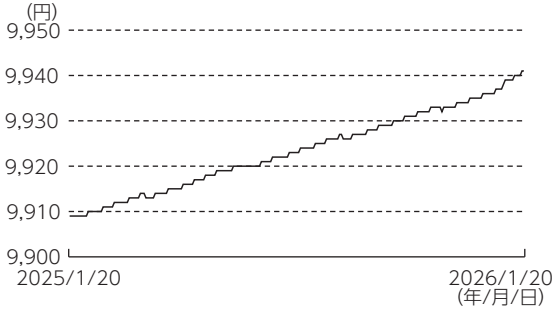
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

（2026年1月20日現在）

◆UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

基準価額の推移　（2025年1月20日～2026年1月20日）



組入上位銘柄

2026年1月20日現在、有価証券等の組入れはありません。

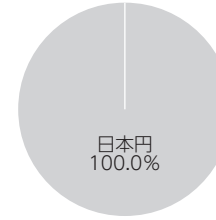
資産別配分



国・地域別配分

2026年1月20日現在、有価証券等の組入れはありません。

通貨別配分



（注1）「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

（注2）「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注3）上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項　目	当期 2025/1/21～2026/1/20	
	金額	比率
信託報酬	4円	0.044%
（投信会社）	(1)	(0.011)
（販売会社）	(0)	(0.001)
（受託会社）	(3)	(0.032)
その他費用	0	0.002
（その他）	(0)	(0.002)
合計	4	0.046

※期中の平均基準価額は9,923円です。

（注1）「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

（注2）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注3）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注4）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。